

## みんなのいえクラブ

### ■講評

実家が空き家となって何年経ただろうか。管理の問題もある。しかし、かつて遊んだ思い出の庭、野趣豊かな光景が消えてしまうのは寂しい。そんな家主の気持ちと、地域のニーズが合致したのが「みんなのいえ」だ。

無償で提供されたこの家屋と土地に、あらゆる世代が集まりみんなで楽しめる企画を、みんなのいえクラブのメンバーが中心となってワイワイと考え始めた。その輪は、他のボランティア団体を巻き込み、遠方からの参加者をも増やし、ますます広がっている。

活動は、庭の雑木刈りから始まった。みんなで、屋内を車いすで移動できるようにスロープを取り付け、廊下の段差とトイレを改修した。みんなで集まれば、アイデアが溢れ出し、各自の出番がやってくる。「竹林から竹を取ってきて流しそうめんをしよう!」「竹釜で卵焼きを作ろう!」「石窯でピザを焼いたら楽しいね!」「自分達で作ろう!」というように、夢がかたちになっていく。

車いすメンバーの「私もピザが焼きたいな!」を叶えることで、こどもの目線からも観察でき、自ら焼きたてのピザを取り出すことができるような、みんなの石窯が完成した。ワイワイ集まっていると、近所の人たちが声をかけてくれる。次年度は、廃材利用でテラスを作ろう、塀を移動してこどもが安全に走り回れる空間にしようといった新たな夢が広がる。

こうして正にみんなのいえに生まれ変わった空き家が、これから先も、世代を超えた人々の交流と自己実現とを可能にする空間として発展し続けることを期待したい。

(白石知子)

### ■ データ (もの)

所在地 知多郡武豊町字楠 1 丁目 1 番地

施設 地上 1 階 木造

敷地面積 5,000 m<sup>2</sup>超

### ■ データ (活動)

発足 平成 22 年



空き家だった「みんなのいえ」と石窯



部屋へ入るためのスロープ作り



森林で切り出した竹を切って、流しそうめんの樋と器作り

流しそうめんの様子



石窯でピザ作り



車いす使用者が使える高さに投入口を作った石窯



みんなで設計を行った手づくりの石窯

(写真：みんなのいえクラブ)